

**令和4年度
かごしま青少年海外研修事業
事業報告書**

■ 目次

1. 事業実施概要	P1
2. 研修日程	P2 ~4
3. 研修内容	P5~9
4. 参加者レポート	P10~11
5. 参加者アンケート	P12

1. 事業実施概要

■ 事業目的

アジア経済圏の主要都市である上海、香港、台北に鹿児島県の青少年を派遣し、訪問国の若い企業人等との交流や、現地体験活動等を通して国際的な視野を持ったリーダー育成を図る。

■ 事業内容

(1) 実施方法

- ・ 事前研修・事後研修・報告会
集合開催（サンプラザ天文館）
- ・ 本研修
オンライン開催（Zoomを活用）

(2) 研修先

上海、香港、台北

(3) 対象者

県内の概ね18歳から30歳代前半までの者で、以下の条件を満たす者

- ・ 鹿児島県内に居住、又は鹿児島県に所在する企業等に勤務する者等（学生を含む）
- ・ 研修の成果を県に報告し、研修後生活又は仕事に生かす意欲を有する者

(4) 参加料

無料

※ ただし、通信料及び研修の受講に必要な環境については参加者負担

(5) 参加者募集

- ・ 募集期間:令和4年11月11日（金）～12月9日（金）
- ・ 参加申込:県HPより、申込書に必要事項を入力し必要書類を添付のうえ申込み

(6) 参加者数

21名

(7) 研修日程

事前研修		12月17日（土）	11:00～16:30
本研修	上海	1月11日（水）	14:00～18:10
	台北	1月13日（金）	14:00～18:10
	香港	1月17日（火）	14:00～18:10
事後研修		1月28日（土）	13:30～16:00
報告会		2月11日（土）	13:30～16:10

2. 研修日程

■ 事前研修 12月17日（土）

時間	内容
11:00～11:20	オリエンテーション
11:20～11:55	過去参加企業からの講話 講師：ENEOS喜入基地（株） 総務部副部長 河野利博 氏
11:55～12:35	オンライン講義（上海） 講師：キャストグローバルコンサルティング 大亀浩介 氏
12:35～13:40	休憩
13:40～14:35	オンライン講義（香港） 講師：香港貿易発展局大阪事務所マーケティング部 益田知佳 氏
14:35～15:25	オンライン講義（台北） 講師：三井住友銀行台北支店 山崎大佑 氏
15:25～16:25	グループワーク
16:25～16:30	事務連絡

■ 本研修 上海 1月11日（水）

時間	内容
14:00～14:10	はじめに
14:10～15:00	企業視察A ①：依思凱農業科技有限公司（農林水産） ②：中飲食品科技股份有限公司（食品）
15:00～15:30	休憩
15:30～16:20	企業視察B ③：上海昂立教育培訓有限公司（教育） ④：上海錦江トヨタ自動車販売サービス有限公司（自動車）
16:20～16:50	休憩
16:50～17:25	現地企業人との意見交換会①
17:25～17:30	休憩
17:30～18:05	現地企業人との意見交換会②
18:05～18:10	事務連絡

※ 企業視察A及び企業視察Bについては、いずれかの企業を選択

■本研修 台北 1月13日（金）

時間	内容
14:00～14:10	はじめに
14:10～15:00	企業視察A ①：片倉佳史氏（観光） ②：iRent和雲行動+Yoxy和泰（TOYOTAグループ）（自動車）
15:00～15:30	休憩
15:30～16:20	企業視察B ③：台湾全農（農林水産） ④：近藤弥生子氏（IT）
16:20～16:50	休憩
16:50～17:25	現地企業人との意見交換会①
17:25～17:30	休憩
17:30～18:05	現地企業人との意見交換会②
18:05～18:10	事務連絡

※ 企業視察A及び企業視察Bについては、いずれかの企業を選択

■本研修 香港 1月17日（火）

時間	内容
14:00～14:10	はじめに
14:10～15:00	企業視察A ①：NX香港（流通）
15:00～15:30	休憩
15:30～16:20	企業視察B ②：スターツ香港（不動産） ③：ワコール香港（衣料品）
16:20～16:50	休憩
16:50～17:25	現地企業人との意見交換会①
17:25～17:30	休憩
17:30～18:05	現地企業人との意見交換会②
18:05～18:10	事務連絡

※ 企業視察Bについては、いずれかの企業を選択

■事後研修 1月28日（土）

時間	内容
13:30～13:40	はじめに
13:40～14:30	過去の参加者との座談会 【内容】 ・ 本研修を終えての意見交換 ・ 研修を今後の仕事や生活にどう生かしたか、どう生かしていけばよいか
14:30～14:40	休憩
14:40～15:55	各班のグループワーク 【内容】：報告会での成果発表に向けた準備 【成果発表テーマ】：研修で学んだことを生かして、今後の仕事や学生生活で体現したいこと
15:55～16:00	事務連絡

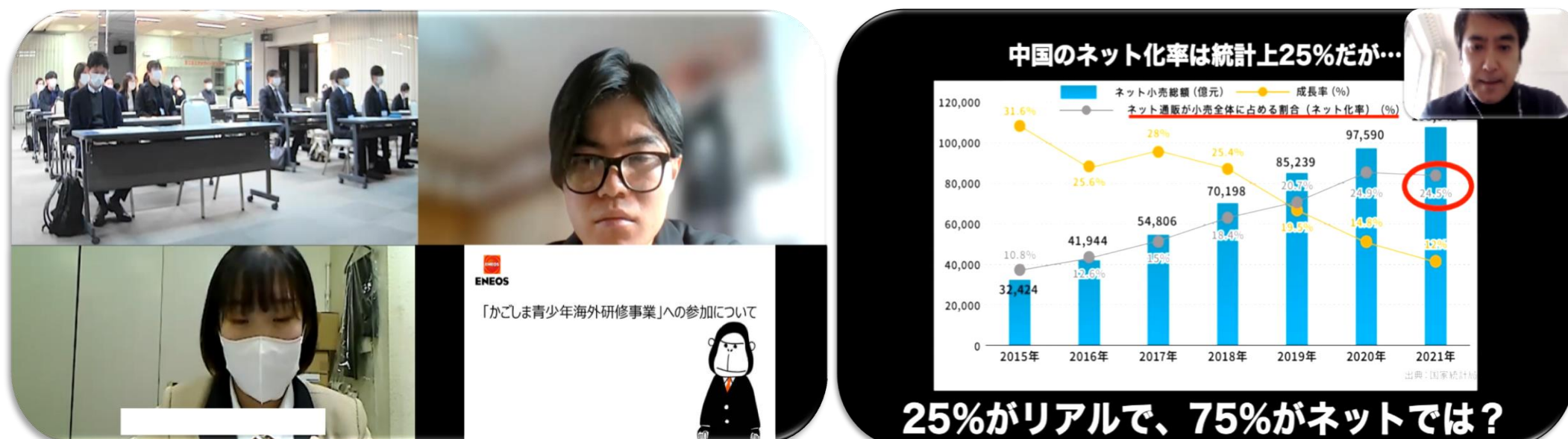
■報告会 2月11日（土）

時間	内容
13:30～13:40	はじめに
13:40～14:40	成果発表（前半：A班，B班） 【テーマ】：研修で学んだことを生かして、今後の仕事や学生生活で体現したいこと 総評 日本ガス（株）代表取締役社長／学校法人津曲学園理事長 津曲貞利 氏
14:40～14:50	休憩
14:50～15:50	成果発表（後半：C班，D班） 【テーマ】：研修で学んだことを生かして、今後の仕事や学生生活で体現したいこと 総評 日本ガス（株）代表取締役社長／学校法人津曲学園理事長 津曲貞利 氏
15:50～16:00	終わりに

3. 研修内容

■ 事前研修

- 過去参加企業からの講話
講師：ENEOS喜入基地（株） 総務部副部長 河野利博 氏
内容：
 - ・ 会社説明（喜入基地を通じた石油の輸入と転送，基地設備）
 - ・ 社員に研修を受けさせる理由と狙い，研修・教育体系について
- オンライン講義（上海）
テーマ：コロナにおける生活の変化
講師：キャストグローバルコンサルティング 大亀浩介 氏
内容：
 - ・ 外出・買い物に関する環境変化
 - ・ 中国のIT事情（海外製SNSと自国SNSの普及の違い）
 - ・ コロナ対策の緩和による来日観光客の増加を想定した今後の経済変化
- オンライン講義（香港）
テーマ：香港・GBA（大湾区）の今を知る
講師：香港貿易発展局大阪事務所マーケティング部 益田知佳 氏
内容：
 - ・ 香港から見る日本（観光・食・ライフスタイル）
 - ・ グレーターベイエリア（GBA）構想
 - ・ 香港貿易発展局について
- オンライン講義（台北）
テーマ：金融機関から見た台湾
講師：三井住友銀行台北支店 山崎大佑 氏
内容：
 - ・ 台湾の地域情報（人口・通貨・政治 等），特徴とリスク
 - ・ 台湾の経済状況
 - ・ 今後の金利・為替相場の見通し



■本研修 上海

○ 企業視察①（14:10～15:00）

テーマ：日本の種と技術を用いた無農薬野菜生産

講師(会社)：依思凱農業科技有限公司（農林水産）

内容：・ 農園内見学（品種紹介も含む）

- ・ 日本からの種の輸入と技術について
- ・ 長く働くことができる職場環境
- ・ 質疑応答



○ 企業視察②（14:10～15:00）

テーマ：世界発信を進める食品の安全管理と経営理念

講師(会社)：中飲食品科技股份有限公司（食品）

内容：・ 施設内見学（商品製造も含む）

- ・ 世界No.1を目指す企業の理念
- ・ 品質管理の為のシステム紹介
- ・ 質疑応答



○ 企業視察③（15:30～16:20）

テーマ：受講者の日本語勉強環境と日本との交流

講師(会社)：上海昂立教育培訓有限公司（教育）

内容：・ 校内見学（教室紹介）

- ・ 受講カリキュラム紹介
- ・ 日中の文化交流
- ・ 質疑応答



○ 企業視察④（15:30～16:20）

テーマ：政策・世界情勢により変化する販売傾向

講師(会社)：上海錦江トヨタ自動車販売サービス
有限公司（自動車）

内容：・ 店舗内見学（販売車紹介も含む）

- ・ 会社説明
- ・ 中国の新エネ車について
- ・ 質疑応答



○ 現地企業人との意見交換

現地参加者：常陽銀行 ほか9名

内容：・ キャリアアップ意識に関する日本との差異

- ・ 仕事をするための家庭での環境づくり



■本研修 台北

○ 企業視察①（14:10～15:00）

テーマ：鹿児島と台湾

講師（会社）：片倉 佳史氏（観光）

内容：

- 台湾基礎情報
- 台湾の人々が見る「日本」とは？
- 質疑応答



○ 企業視察②（14:10～15:00）

テーマ：台湾のレンタカー・タクシー事情

講師(会社)：iRent和雲行動+Yoxy和泰
(TOYOTAグループ) (自動車)

内容：

- 会社説明（iRent・Yoxy提供サービス紹介）
- コロナ禍に対応する経営の変化
- 質疑応答



○ 企業視察③（15:30～16:20）

テーマ：JA全農の輸出・小売事業

講師(会社)：台湾全農（農林水産）

内容：

- JA全農（全国農業協同組合連合会）とは
- 農産物等の輸出の流れ
- 質疑応答



○ 企業視察④（15:30～16:20）

テーマ：台湾のデジタル大臣オードリー・タン氏について
知ろう

講師(会社)：近藤 弥生子氏（IT）

内容：

- デジタルとITの違い
- オードリー氏が推進するデジタル民主主義
- 質疑応答



○ 現地企業人との意見交換

現地参加者：オキコ株式会社社員（ほか9名）

内容：

- 台湾と日本の働き方の違い
- 残業の考え方について



■本研修 香港

○ 企業視察① (14:10~15:00)

テーマ：新型コロナウイルスの流行によって変化した香港の
貨物輸送業の実情

講師(会社)：N X 香港 (流通)

内容：・ 会社説明

- ・ 新型コロナウイルス流行による貨物の運送方法の変化

- ・ 従業員 (ドライバー・作業員) の転職・離職, 高齢化問題

- ・ 質疑応答



○ 企業視察② (15:30~16:20)

テーマ：香港の不動産事情と日本の不動産との比較

講師(会社)：スターツ香港 (不動産)

内容：・ 会社紹介 (取扱不動産の種類とサポート)

- ・ 賃料の推移と要因

- ・ 香港で働く魅力

- ・ 質疑応答



○ 企業視察③ (15:30~16:20)

テーマ：香港ワコールの沿革と弊社から見た香港流通
業界の変遷

講師(会社)：ワコール香港 (衣料品)

内容：・ 会社紹介 (商品説明含む)

- ・ ワコールが目指す未来について

- ・ 日本と香港のジェンダーに関する考え方の違い

- ・ 質疑応答



○ 現地企業人との意見交換

現地参加者：サロンフィルムズ (株) 香港本社 ほか9名

内容：・ 仕事をするうえで大切にしていること

- ・ 評価制度

- ・ 働きやすさの工夫



■ 事後研修

○過去の参加者との座談会

過去の参加者：鹿児島県中小企業団体中央会

総務企画課 重村裕美氏（令和元年度台北コース参加者）

ENEOS喜入基地株式会社

総務部総務グループ 西尾友美氏（令和3年度参加者）

○グループワーク

内容：報告会での成果発表に向けた準備

テーマ：研修で学んだことを生かして、今後の仕事や学生生活で体現したいこと



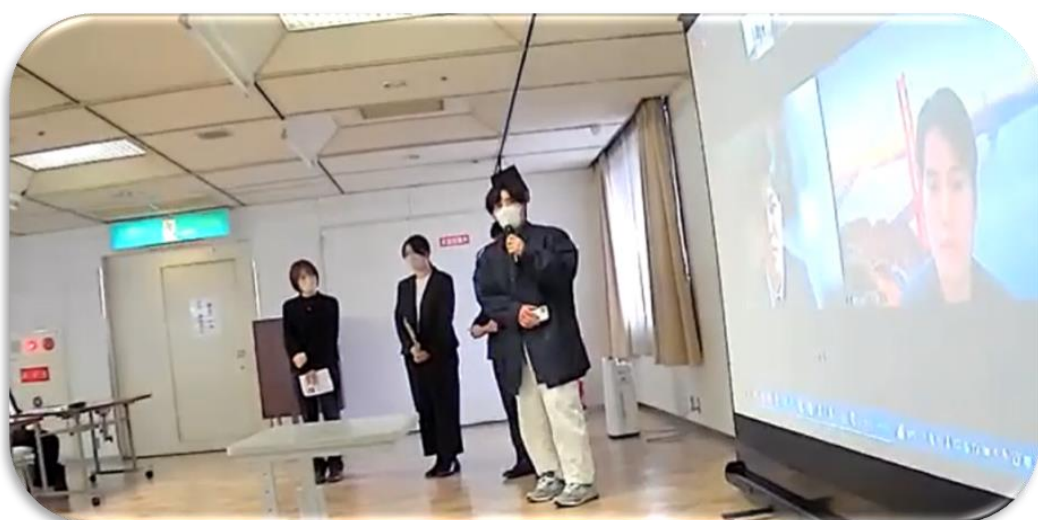
■ 報告会

○参加者による成果発表

テーマ：研修で学んだことを生かして、今後の仕事や学生生活で体現したいこと

○総評

日本ガス株式会社 代表取締役社長 / 学校法人津曲学園理事長 津曲貞利氏



4. 参加者レポート（概要）

(1) 研修の感想

本研修を受ける前と後で変わった価値観や考え方はあったか。

※ 参加者のレポートを一部抜粋

- ・ 今回の研修でもっとも強く感じたのは、3都市と日本の働き方の違いだ。自分に任されている仕事に自信を持ち、多くの決定権を与えられている点が印象に残っている。自分の専門性を強く自覚し、自分の権限で仕事に取り組み、効率的に終わらせることで仕事とプライベートの両立を図る事ができていると強く感じた。また、そういった仕事の実践方法が、職場を変えてのキャリアアップを実現させているのではないかと感じた。
- ・ 3か所のアジア拠点と国・政府について、それぞれの企業について話を聞く中で、「自分たちの仕事に責任をもってやる、しかし残業するというわけではなく、時間内に終わらせられるように、できることはやり直し、できないことはできないとはっきり分けている人が多い」「一つの会社にずっといるというよりは、自分のキャリアアップ・経験のために様々な会社で努力する人が多い」ということを聞き、自分自身の考え方だけが正解というわけではないということに改めて気づかされた。
- ・ 各国に対する見方や印象が変わった。特に、デジタル化やキャッシュレス化が日本と比べてかなり進んでいる印象を受けた。また、各国の産業、観光の現状や、現地で実際に働く日本人の方々の話はとてもためになった。日本とは働き方や、仕事に関する考え方が大きく異なっていると思った。研修前は、アジア圏で働くということは考えていなかったが、今回の研修でとても興味を持てたのと同時に、これから発展が期待される主要国が多くある東南アジアなどへの近さなど色々な魅力に気づくことができた。
- ・ これまで抱いていた仕事に関するあらゆる価値観や考え方が明確に変わったことを実感した。なかでも特に、コミュニケーションの大切さが挙げられる。具体的には、ただ情報を共有して相互理解を図るというのではなく、誤解を防ぐためにお互いの真の意見や考え方をきちんと伝えあい、必要であれば議論を重ねていくというやり方で、時には一歩踏み込んで前向きな議論を試みることも重要なのだということに気づかされた。さっそこの考え方を取り入れて、小さなことでも自分の意見をしっかりと持ち、それを発信するようにしたい。
- ・ 世界の働き方を標準として無理に全てを合わせていくのではなく、日本の働き方の良い点を大事にしていくことが、世界の中で働く際には自分の強みになるのかもしれないと、今回の研修を通して感じた。

(2) 研修成果の反映

研修を終えて、改めて研修の成果を今後の自身のキャリアや地元鹿児島のためにどのように生かしたいか。

※ 参加者のレポートを一部抜粋

- ・ 今の在り方がベストなものであるという考え方ではなく、若い人がアイデアを発言できるような場、それを実行できる機会をつくっていくことが当社に必要な要素であると感じた。また、ルールに従って働くことが目的ではなく、ルールに沿って働くことはあくまでも会社のビジョン達成の手段であるということをしっかりと社内の共通認識としてもってもらうため、私自身経営理念・ビジョンを社内に浸透させていく取組を行っていかねばならないと感じた。
- ・ 日本でも働き方改革が進んでいると考えていたが、世界的に見ると男女平等や残業に関してはまだ変革途上であり、今後も変革をしていかねばならないと考えた。また、海外で働いている方々が海外で働くことに肯定的で、生き生きと働いているように見えた。現在のアジア圏、さらに広い視野でヨーロッパ、アメリカなどでの働き方についても学び、周囲に広めたい。
- ・ 今回の研修を経てさらに視野が広がり、日本と海外の働き方や考え方、価値観を学ぶことができたのと同時に、自分に対する改善点も見つかり、とても良い経験になった。また、鹿児島の魅力を多くの方々に伝え、観光業の更なる活性化に役に立つような人材を目指したいと思う。そのためには、コミュニケーション能力の向上や何事に対しても学ぶ姿勢を意識して生活していこうと思う。また、今回の研修では積極性という部分において欠けてしまっていたので、これからのキャリアアップのためにもしっかりと自己分析を行い、足りないことは補い、就活に生かしていきたい。
- ・ 本研修を通じて、多角的な視点・柔軟な思考を身に付けるには「自分の考えを伝える、相手の考えを受け入れること」が重要であると学んだ。そして、これは他国の企業人だけでなく、部署や年齢、性別の違う相手とのコミュニケーションにおいても非常に重要だと感じた。周囲と相互理解を深めることは、組織の活性化および互いの成長にも繋がっていくと考える。今後、この言葉を忘れず、周囲との関係を築いていきたい。
- ・ 自分の文化が当たり前だと思わないことを前提に、相手に伝えたいことは何なのかをしっかりと汲み取って、外国の方と関係を築いていけたらと思う。アジア圏の方に愛されていることもわかったので、次は自分が外国人という目線で上海・香港・台北に行き各国の魅力をSNS等で発信していけたらと思う。そして、もっと鹿児島の魅力を伝えるために自分が鹿児島のことをより深く勉強していきたいと思う。

5. 参加者アンケート（概要）

- (1) この研修をどのように知りましたか※複数回答可
 - ・社内掲示・社内の公募案内（4名）
 - ・友人・知人（1名）
 - ・会社の上司（11名）
 - ・その他（6名）
- (2) 研修全体について
満足(11名) やや満足(9名) 普通(0名) やや不満足(0名) 不満足(0名)
- (3) 事前研修について
満足(14名) やや満足(7名) 普通(0名) やや不満足(0名) 不満足(0名)
- (4) 本研修について
満足(13名) やや満足(8名) 普通(0名) やや不満足(0名) 不満足(0名)
- (5) 事後研修について
満足(11名) やや満足(8名) 普通(1名) やや不満足(0名) 不満足(0名)
- (6) 報告会について
満足(15名) やや満足(5名) 普通(1名) やや不満足(0名) 不満足(0名)
- (7) その他研修に関するご意見・ご要望
 - ・ 様々な方と触れ合うことができたことが自分にとっての一番の収穫だった。自分の生き方や働き方に対して、良い刺激となった。
 - ・ 現地の方々や現地で働く日本人の方々とリアルタイムに会話でき、学びになることが多かった。
 - ・ この研修を通して日本や鹿児島の良いさを感じてもらうことが必要だと感じた。そのためには、自分たちが外の世界に対して強みと感じているものが何か考える時間もあつたほうが良いと思った。
 - ・ 以前研修に参加された方々との対談は、今後の自身のキャリアへの具体的な生かし方を考える良い機会となった。
 - ・ 残念ながら現地に行くことが出来なかったが、オンラインのおかげで自分が志望していなかった分野の企業についても知る機会があり、とても満足できた。